



# 水産、再生可能エネルギー、ツーリズムによるブルー・エコノミー型 離島活性化の理想形がある“島”

美しい空気や景色、人間が生きる地の原点ともいえる“五島”ライフを誇りに

## POINT! 2017年4月 有人国境離島法が施行

有人国境離島地域の「保全」と「地域社会の維持」を目的として施行され、長崎県では五島列島・壱岐島・対馬3地域(7市町)が対象地域に指定されました。雇用機会の拡充などの関連施策により、法施行後3年間で**850人を超える新たな雇用の場**が生まれています。

### 世界文化遺産

#### キリタン関連遺産の「世界文化遺産」登録

2018年7月登録

禁教政策下の潜伏キリタンの信仰の継続を物語る集落に国内外から多くの人々が訪れています。

五島列島における構成資産の来訪者数  
2017年5.4万人(各年7~6月)

2018年9.3万人



### 3 9 ドローンによる 地域課題の解決



離島間にドローンを用いた物流網を構築する取組が、五島市及び新上五島町・小値賀町・西海市で進められています。

### 8 再生可能エネルギーのしまづくり



日本初  
浮体式洋上風力発電  
2016年3月より稼動。全国第1号の促進区域指定を受け、ウインドファーム化を目指しており、設備の保守管理に携わる技術者等の新たな雇用も創出されています。

### 7 有人国境離島法による地域活性化 アジア初上陸 北欧型グランピング施設



©Nordisk Village Goto Islands  
廃校となった福江島の小学校跡地にグランピング施設とカフェレストランがオープン。

### 6 山本二三美術館



『天空の城ラピュタ』等、数々の名作アニメーションで美術監督を務めた五島市出身のアニメーション映画・美術家 山本二三氏の描いたアニメーションの背景画や、五島を描いたオリジナルの絵画を展示する美術館がオープン。

## POINT! 民間投資(ホテル建設)の動きが活発化

世界文化遺産を擁する観光地として多くの観光客が来訪する中で、新上五島町では「五島列島リゾートホテル マルゲリータ奈良尾」、五島市では「GOTO TSUBAKI HOTEL」が新たに開業し、また、五島市の鏡瀬地区において、高級リゾートホテル建設が予定されるなど、民間事業者による投資の動きが活発化しており、さらなる地域の活性化が期待されています。



GOTO TSUBAKI HOTEL  
(2019.6オープン)



五島列島リゾートホテルマルゲリータ奈良尾  
海ト空〇ト星(2019.3オープン)  
出典:ホテル公式サイト



ホテル建設が予定されている鏡瀬地区  
※写真は、同地区の鏡瀬熔岩海岸

## POINT! 滞在型観光の促進



世界遺産を巡る着地型ツアー「五島列島キリタン物語」や都会では見ることのできない「星空ナイトツアー」(五島市、新上五島町、小値賀町の3ヵ所で開催)など、体験型コンテンツも充実。

## POINT! 「五島の椿プロジェクト」始動



産学官民の力を結集し、五島列島の地域資源「椿」を活用して産業と雇用を創出するプロジェクト。写真は「五島の椿プロジェクト」認定商品で、第一弾は、「五島の椿・椿酵母せっけん」とオイル

## POINT! ワークーションの先導地域へ



都市部からのワークーション(※)誘致により、五島列島と積極的に繋がりを持つとする関係人口が拡大。  
(※)日常的な仕事とバケーションを融合させた新たな働き方

## + プラスONE

### + 交流人口を増やす航空・航路など 輸送ネットワークの拡充

不利な交通・交流条件を緩和することが交流人口や移住者の増加に不可欠。五島つばき空港の航空路線の拡充や二次離島との航路充実・利便性向上に加え、将来的には人とモノの輸送手段としてのドローン実証等によって、輸送ネットワークの拡充を図る必要がある。

## 期待される 相乗効果 連携

2017年4月に施行された「有人国境離島法」に基づく「雇用機会拡充事業」を活用し、多様な活性化プロジェクトが誕生。これらのプロジェクトをきっかけに、島内外の人・モノの交流が活発化することで、人口の社会動態が大きく改善することが期待される。